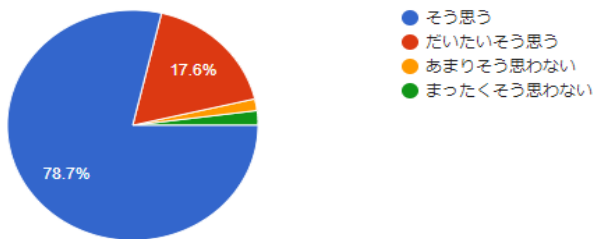
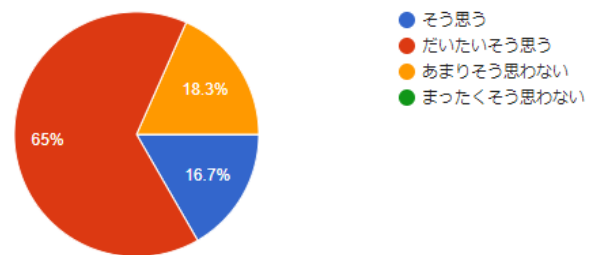


1 青垣地域の自然・文化・人について関心を持って学習している。

【児童】



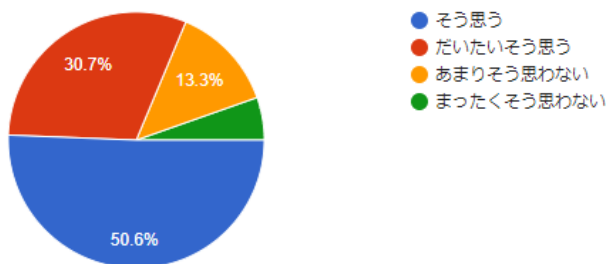
【保護者】



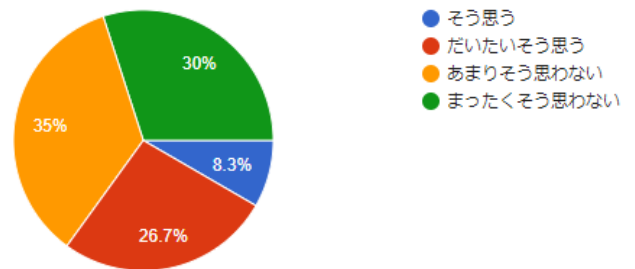
- ・児童の肯定的な評価が96%、保護者が82%と非常に高く成果が上がってきていると考える。
- ・総合的な学習の時間で、系統立てて青垣の宝について学びを深めてきていることから、児童の実感として高い評価につながっていると考えられる。

2 家庭で様々な内容の本を1週間に1冊以上読んでいる。

【児童】



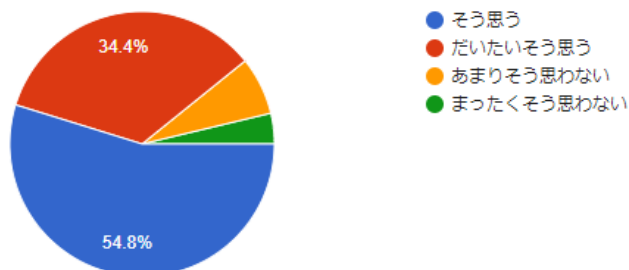
【保護者】



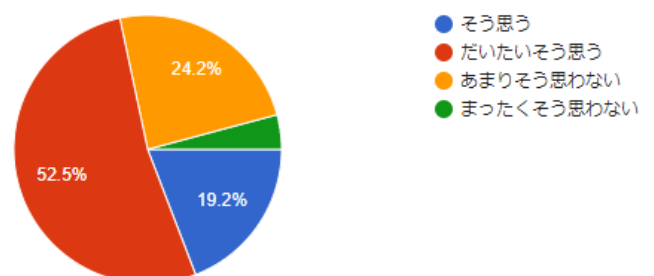
- ・家庭学習ウィーク、朝読書、月曜日の読書タイム(昼休み)、読み聞かせ(金曜日)、青垣図書館からの貸し出し等、児童が本にふれる機会を増やしてきたことで、本を身近に感じているものの、家庭での読書習慣はあまり伸びたとは言えない。今後、家庭での読書習慣が増えるような工夫を考えていきたい。

3 得意な教科・苦手な教科に関わらず、めあてを持って丁寧な文字で家庭学習に取り組んでいる。

【児童】



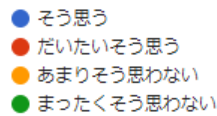
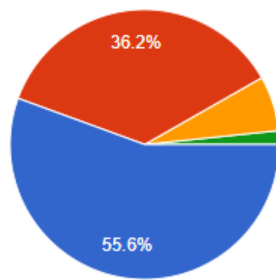
【保護者】



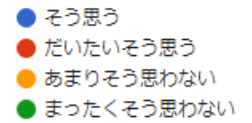
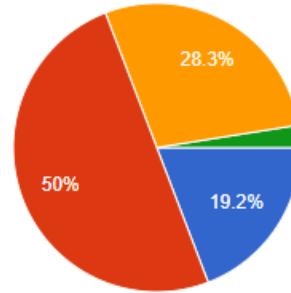
- ・保護者の協力のもと、家庭学習ウィークを年5週取り組んできた。発達段階に合わせて宿題の内容や量を精選し、主体的に取り組んでいける家庭学習を設定している。さらにマイノート(自主学習)を中心として、めあてを持ち、主体的に取り組んでいける家庭学習を推進したい。

4 問題に対して自分の考えを持ち、調べたり聞いたりして解決しようと学習に臨んでいる。

【児童】



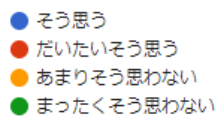
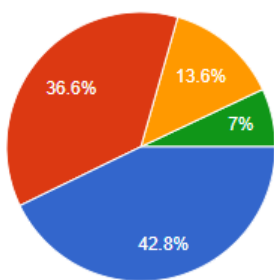
【保護者】



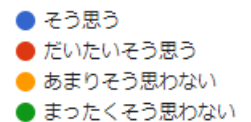
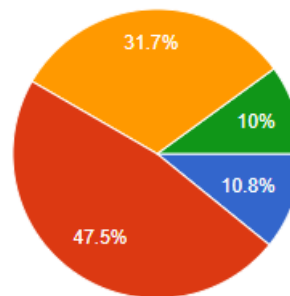
・児童は、課題解決に向けてタブレット端末や書籍などを用いて情報収集をすることができるようになってきたと実感している。主体的、対話的な授業展開を意識し、協働的な学びが保障される授業づくりをしていきたい。

5 電子メディア（テレビやインターネット、ゲームなど）にふれる時間について、家庭で決めたルールを守っている。

【児童】



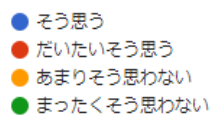
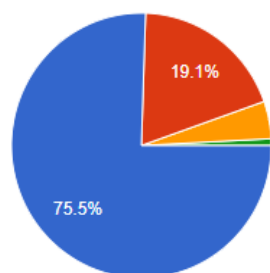
【保護者】



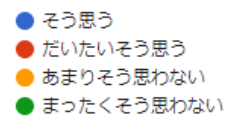
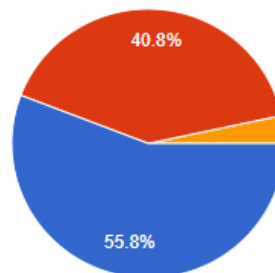
・メディアコントロール週間を学期に1回設定し、家庭での利用の仕方について見直しを行っている。
 ・児童の80%以上がメディアのルールを守っていると回答しているのに対して、守れていると答えた保護者は半数程度であることから、認識の違いに大きな差が見られるため、今後も家庭と学校で連携していく必要がある。

6 友だちのことを大切にしている。

【児童】



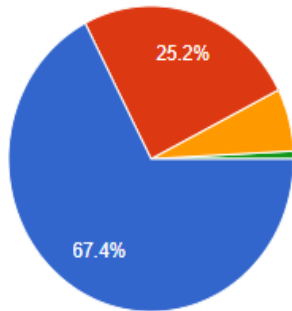
【保護者】



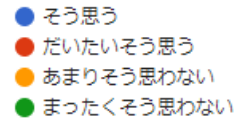
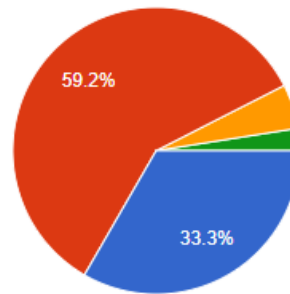
・児童95%保護者97%と非常に肯定的な評価があった。いじめに対する理解が深まり、互いの人権が尊重される学校づくりに務めていきたい。

7 あったか言葉(挨拶も含む)を使って、よりよい人間関係を築こうとしている。

【児童】



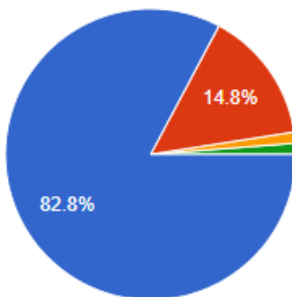
【保護者】



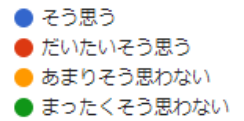
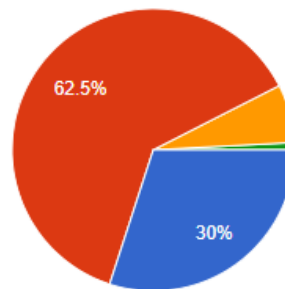
・児童93%保護者93%と高い評価ではあるが、内訳としては、さらにあったか言葉を使ってほしいと願っている保護者が多いことがうかがえる。今後も青垣小学校では、あったか言葉を推進し人権が守られる学校を目指していきたい。

8 自分の良さも友だちの良さも大事にしながら友だちづくりをしようとしている。

【児童】



【保護者】



・回答結果から、互いの個性や違いを認め合いながら、安心できる居場所作りができていていると考える。
 ・保護者、教職員、関係機関が連携を図り、個に合わせた支援を行い、誰もが活躍できる学校づくりを進めていきたい。